

全校朝会の話 7月3日(月)

国語や宿題で音読をしますが、声を出して読む音読と声を出さ
ないで読む黙読とではどちらが頭に入るとおもいますか？

声を出して読む音読だと思ふ人

声を出さなくて読む黙読だと思ふ人

一般には声を出して読む方が記憶できるのです。人間の記憶する力というには体のいろいろな所を使った方が覚えやすいのです。黙って本を読む場合は目だけしか使っていないこととなります。しかし、声を出すと目と口の2つを使うこととなりますね。そして、その声を聴く耳も使うと3つとなります。

漢字の練習では、それに手を加えると4つとなります。声を出しながら手を使って大事なことを書いていく方がしっかりと記憶できるのです。

声に出すのが面倒だとか、書いて覚えるなんて面倒と思っている人がいるかもしれませんが、せっかく勉強するのですから、しっかりと覚えてもらいたいです。漢字の練習も、読んだり、書いたりしてたくさん覚えてください。

小学校6年間で習う漢字は何文字あるとおもいますか。

①500字 ②1000字 ③2000字

正解は1026字もあります。頑張って覚えてくださいね。

今日は、声、手、口などを使って、しっかりと覚えていきましょうというお話でした。